

静岡県におけるガラス型ペロブスカイト太陽電池の導入実証開始

YKK AP 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：魚津 彰）は、静岡県（県知事：鈴木 康友）と共同で静岡県の事業としては初めてとなるガラス型ペロブスカイト太陽電池による導入実証（以下、「本事業」）を開始いたしましたのでお知らせします。

本事業は、静岡県との業務委託契約に基づき、ペロブスカイト太陽電池の普及促進や県内企業の関連ビジネスへの参入促進を図るため、モデル的に実証機器を導入し、その実証成果を広く県内へ還元することを目的としています。

静岡県は清水港でのカーボンニュートラルポート形成を目指し、脱炭素社会実現に向けた先進的な取組を推進しています。本事業では清水マリビルにガラス型ペロブスカイト太陽電池を設置し、6 月から 3 月までの約 10 ヶ月間、連続使用下での耐久性などを検証します。

当社はこれらの取り組みにより、引き続き、これまで進めてきた「窓で断熱」（省エネ）に「窓で発電」（創エネ）を加え、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。



清水マリビル全景



清水マリビルに導入されたガラス型ペロブスカイト太陽電池

【清水マリビルでの導入実証概要】

期間：2025 年 6 月 2 日（月）～2026 年 3 月 31 日（火）〔予定〕

場所：静岡県静岡市清水区日の出町 9-25（一般公開はしていません）

太陽電池：内窓／発電ガラス 600mm×1,200mm 2 枚（ガラス型ペロブスカイト）

【静岡県 WEB サイト】⇒[令和 6～7 年度ガラス型ペロブスカイト太陽電池導入実証](#)